



盛本昌広氏



# 「泥亀新田と永島家」

## 金沢の歴史講演会

NPO法人 横浜金沢文化協会会報



NPO法人  
 横浜金沢文化協会  
 編集人 野中 建吾  
 ☎ 781-5044  
 発行人 橘川 和夫  
 理事 幸栄印刷(株)  
 印刷 ☎ 716-3366



昨年9月16日(日)、洲崎町にある牡丹花  
 で有名な古刹「真言宗御室派知足山龍華寺」  
 の本堂で、標題の歴史講演会が開催された。

講師はこれまで数多く当文化協会主催の文化・歴史講演会にて講演されて来た  
 文学博士にして歴史研究家の盛本昌広氏。当日は生憎の小雨催いの天気だったが  
 会場の本堂は、同講師の名講演振りを熟知している人達約130人で超満員となつ  
 た。来場者は先ず山門横の地藏堂内で受付け、金沢茶道会による呈茶のサービス  
 を受けてから本堂へ向かった。本講演に先立ち、同寺の和田住職から要を得た

「龍華寺の歴史」の紹介があり、聴衆の関心・興味を  
 引き立てた。続いて本番に入り、盛本先生の独壇場が  
 始まり、泥亀新田を開発した永島祐伯(雅号・泥亀)と  
 9代目永島忠篤(雅号・亀巢)を中心とする永島家の  
 活躍、他村との争論、開発の方法、牡丹園の公開など  
 永島家代々の功績等について、各種文献に基づき、  
 歯切れよく分かり易く話され、聴衆の静聴と満足感を  
 得た。講演終了後、希望者は境内東側の永島家墓所に  
 案内された。境内「地藏堂」隅に、慎ましくかつ美しく  
 咲いていたリコリス(狐の刺刀)の花が印象的だった。

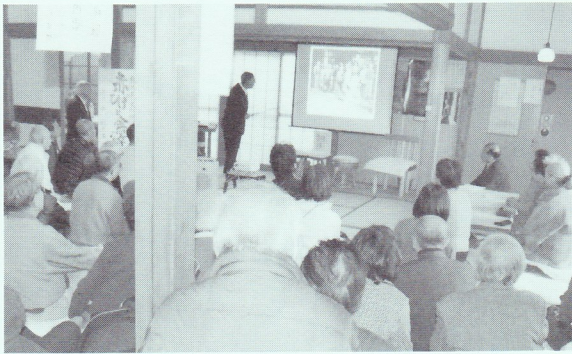


## 金沢園にて恒例の新年会

1月21日(月)、役員会に引き続き、5時  
 より、新年会が開催された。橘川理事長  
 の金沢園の由来に始まる挨拶に続き、  
 翌日85才の誕生日を迎える松野宗純顧問  
 と高井祿郎顧問の文化協会に対する激励  
 の挨拶の後、後藤名誉会長の乾杯で賑や  
 かに祝宴に入った。片岡順一顧問からは  
 金沢区写真連盟第1回公募展への協力を  
 求める挨拶があった。余興は例年以上に  
 盛り上がり、大川理事の吟詠、橘川理事長  
 のイタリア歌曲「ラ・スパニョーラ」の  
 熱唱、木村路子理事の「さくら貝の歌」の  
 美声、遠藤理事の吟詠、坂事務局長の  
 「黒田節」があり、最後に後藤名誉会長の  
 能「高砂」の付祝言と続き会場を沸かせた。  
 鈴木節夫副理事長の中締めの後、記念写真  
 を撮り、7時過ぎにお開きとなった。







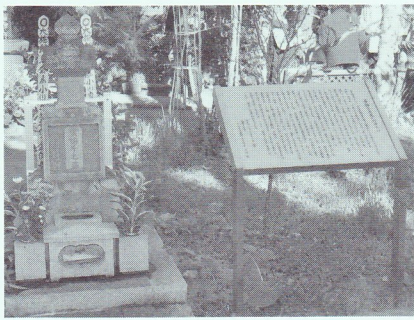
# 「赤ひげと金澤」

## 金沢区の文化講演会



小川 明氏

片吹町の奥に静かに佇む海藏山太寧寺で、明るく晴れ上がった師走13日（後記の「小石川養生所」開院の日の享保7年12月13日にちなみ）に、横浜金沢文化協会主催・金沢区役所等後援による標題の歴史講演会が行われた。会場である本堂は約70人の聴衆で満員となった。聴衆は先ず当協会茶道部による茶菓のもてなしを受けた。（菓子には、富岡駅前前の和菓子店「横浜紅谷」特製の「赤ひげ養生饅頭」）その後、江戸時代の「医は仁術」を実践した名医「赤ひげ」こと小川笙船から17代末裔の日本大学元教授（工学博士）の小川明氏が講演された。庶民の救済に尽力した「赤ひげ」先生が江戸の「小石川養生所」の初代肝煎となる経緯、江戸の医療施設の変遷、小川家代々の肝煎の医療に対する多大なる寄与、「赤ひげ」と武州金沢との因縁等について話された。小川講師の嘯んで含める如き流暢な話術に、会場は熱気を伴う静聴に包まれた。講演終了後聴衆は、万両や石路が咲き、珍しい小小町竹が生える境内の「雲語子之墓」（小川笙船の墓）と「伝源範頼の墓」に詣でたのち、若い頃に見た黒澤明監督、三船敏郎・加山雄三・香川京子・志村喬ら出演の映画「赤ひげ」を頭に浮かべつつ帰路に就いた。



# 「かなすい」クリスマス・チャリティー・コンサート



金沢吹奏楽団(かなすい)の平成24年クリスマス・チャリティー・コンサートは、12月16日、金沢公会堂で、横浜金沢文化協会の後援を頂き、開催しました。当コンサートは11年前、能見台の障害児者地域活動ホーム「りんごの森」立ち上げ応援で始めたもので、現在はネットワーク「わっしょい」の応援に引き継がれ、金沢吹奏楽団の寄付と当日の来場者募金は、この11年の累計で百万円を超えます。また、このコンサートは、当協会の国際交流事業の一つとしても定着し、長年、多くの外国人区民の皆様に来場いただき、楽しい司会と吹奏楽の演奏の中、世界共通の言葉「音楽」を通じ、観客と演奏が一体となったアットホームなクリスマスを楽しんで頂いています。

# 金沢区写真連盟の発足と現況

平成22年10月、NPO法人横浜金沢文化協会が中心となり、横浜金沢観光協会の協力を得て、金沢区写真連盟を立ち上げました。金沢区内の写真団体に協力を呼びかけ、金沢区民を中心に、写真に対する発表の場を提供し、写真による表現の創作を通して、横浜市金沢区の文化の向上と地域活性化に貢献することを目的としております。金沢区役所等の後援及び、区内企業の協賛を得て第1回公募展を杉田劇場ギャラリーで5月16日から21日の間実施することになりました。募集要領のチラシを2千枚ほど関連各所に配布して募集活動を実施しております。皆様参加をよろしくお願いいたします。

## 第1回公募展 金沢区写真連盟

会期:2013年5月16日(木)~5月21日(火)

10:00AM~6:00PM 最終日は4:00PMまで

会場:杉田劇場ギャラリー (磯子区民文化センター4階)

主催:金沢区写真連盟

共催:NPO法人横浜金沢文化協会 横浜金沢観光協会

後援:横浜市金沢区役所 神奈川新聞社

協賛:(公・財)緑の協会 (株)横浜八景島 (株)横浜テックタワーホテル ファミール 横浜ベイサイドマリナー(株)(社)二科会写真部神奈川支部 (株)日本写真企画 カメラのキタムラ横浜/金沢シーサイド店 (株)堀内カラー (株)丹摩





# かねさわ2012 金沢文化 フェスティバル

今回が第一回目となる「金沢文化フェスティバル(かねさわ2012)」(東日本大震災チャリティー公演)は、昨年11月4日、横浜金沢文化協会主催、金沢区役所(金沢区民活動サポート補助金支援)・金沢八景の自然と史跡を守る会の後援を得て、金沢公会堂にて開催されました。当行事に協力・参加されました各種団体の皆様方の好演・熱演のお陰で成功裡に終わりましたことに対し、ここに深く感謝致します。入場者は延約350人を数えました。なお当日、東日本大震災チャリティーの募金も行い、好意の寄付金が38,000円集まりました。金沢区役所地域振興課と打ち合わせ、日本赤十字社宛て郵便振り込みしたことをご報告します。

次に、各実施演目ごとの鑑賞報告を致します。

## 威勢

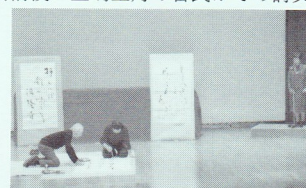
「木遣唄」「お囃子」は、江戸時代から伝わる民俗芸能です。六浦地域の夏祭りや瀬戸神社の天王祭でお馴染みの威勢の良い「木遣唄」と賑やかな「祭囃子」を、金沢区木遣囃子連絡協議会・三艘囃子連の皆様が、舞台上で華やかにかつ勇壮に披露してくれました。この「金沢文化フェスティバル」の幕開けを威勢よく飾るものでした。木遣唄は「金沢名所」、祭囃子は「屋台・鎌倉・国ヶ民・四丁目・宮昇殿」が出しものでした。



## 木遣・お囃子

## 壮麗

俳句「柿食えば」・短歌「月よみの」・漢詩「九月十三夜」の三題を、この順で、金沢区吟剣詩舞道連盟の遠藤岳瑞・大川岳要・青木岳久の各氏が吟じ、金沢区書道協会の大塚香桂・高橋清溪・生嶋生月の各氏がその詩文を同時進行的に、大きい紙面に墨書しました。美声での吟詠と、堂々と落ち着いた墨書に観客は息をのんでいました。演目終了後、墨書を舞台後方に掲出して、会場の雰囲気をも壮麗なものとなりました。



## 書道・吟

## 温雅

野村流古典音楽保存会の水谷亮介氏が、昔から伝わる沖縄の琉球古典音楽「かぎやで風節」・「伊集早作田節2012」のほかに、宝塚歌劇団の楽曲「さよなら皆様」を、三線(さんしん：三つの弦をもつ沖縄・奄美の弦楽器)の民族風豊かな調べに乗せて披露されました。琉球古典音楽の温雅さに加えて、近代音楽の域にもその調べを広げて行こうとする意欲満々な様子が、奏者の姿に伺うことが出来ました。



## 三線

## 爽快

金沢区西柴の地で誕生し、今年で30周年を迎えた「混声合唱団虹の会」の28人の男女の皆さんが、小川昌文氏の指揮と津村貴子氏のピアノ演奏のもと、H.C.ワーク作曲の「大きな古時計」・山田耕作作曲の「赤とんぼ」・コダーイ作曲の「Adventi Enek」・フォーレ作曲の「ラシーヌ賛歌」の4曲を、合唱され、歌声は会場いっぱいに響き渡りました。仲間の団結に基づく爽快な混声合唱が今でも耳に残っています。



## 混声合唱

## 澀刺

これはなんとまあ、元気澀刺たる若者の集団だろう!!横浜市在住の小・中・高・大学生が中心となり結成された「八景駒太鼓」による和太鼓演奏でした。子馬(駒)が青い空の下、緑の草原を走り抜けて行くように、元気澀刺たる若者たちの和太鼓が響き渡りました。演奏曲目は、「神輿(みこし)」・「響」・「山のおはやし」。この和太鼓演奏者の若々しい澀刺たる動きを見て、心と体に響く音を聞き、私たちは間違いなく元気を頂きました。



## 和太鼓

## 優雅

金沢三曲会は、「風のダイアログ〜かねさわ抄〜」を、一箏を下里恵美、二箏を佐野純子、十七弦を佐野史瑞子、尺八を村瀬額山の各氏が演奏されました。箏の音の清楚にして優雅な響きは、私たちの心の中にすんなりと入って来ます。昭和53年に結成された金沢三曲会は、昨年35周年を迎え、金沢区をテーマにした曲を委嘱、初演したと聞いておりますが、これを機に益々のご発展をお祈りします。



## 箏曲

## 優美

4代目ビクター少年民謡会出身で、現在は実力派民謡歌手として関東地方を中心に活躍している阿部きみえ氏の主宰する「きみえ会」が、民謡「秋田大黒舞」・「新相馬節」・「津軽じょんから節」の3曲を、三味線・藤代富士穂氏、お囃子太鼓・中学二年生の広瀬なごきさんの演奏で、阿部きみえ氏が歌われました。唄・三味線・お囃子太鼓の三者の空間には優美なメロディーが爽やかに流れて、終演時には大きな拍手が湧き起こりました。



## 民謡

## 荘厳

区内で活動している吟詠・剣舞・詩舞の各会により流派を超えて結成された「金沢区吟剣詩舞道連盟」は、詩舞吟・剣舞吟・吟詠を行いました。詩舞吟は「名槍日本号」を佐々木岳賢氏の吟詠により山田岳栖氏が舞い、剣舞吟は「富士山(和歌入り)」を肥沼華岳・福本優岳両氏の吟詠により保坂凜岳氏が舞い、吟詠は「母を奉じて嵐山に遊ぶ」を阪柳岳朋氏が吟じました。吟詠する人と舞う人との息が見事に合い荘厳な雰囲気醸し出していました。



## 詩吟

## 華美

田代綾子氏の主宰する「オヒア フラストアジオ」は、「いつまでも元気で」をモットーにしており、美女軍団によるフラダンスが舞台狭しとばかりに披露されました。演技者(敬称略)は、吉田有紀・池田優子・金子澄江・大槻誠子・谷口暎子・瀬戸山和美・菊地明美・北川しん・加藤道子・成田利子の皆さんで、「マールマ マウハワイ」「カビカ」「ポーライライ」を華美にそして爽やかに踊って頂き、観客の目が洗われました。



## フラダンス

## 勇壮

金沢太鼓同好会阿王ヶ台支部は、藤代先生の指導により、会員8人で阿王ヶ台自治会館にて練習に励んでいると聞いています。今回は曲目「寿太鼓」と「多喜雄のソーラン節」を、楠大海・木下建・難波陽・河原まり子・小堺江美子・井上正枝・芋田綾子・浪岡美恵子(以上、敬称略)の皆さんが、八景太鼓の若人達に負けず劣らずの元気さで、勇壮に演じられました。叩く姿から、演者の爽快感が伝わって来ました。



## 和太鼓



# 第24回 金沢区民文化祭

第24回金沢区民文化祭は、平成24年10月10日から12月9日までの間、金沢区民文化祭実行委員会主催、金沢区役所共催、NPO法人横浜金沢文化協会後援により、次の通り9行事が実施されました。

## ☆区民の作品展☆

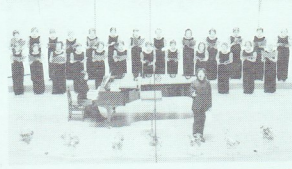
10月10日(水)～14日(日) 金沢地区センター体育館

「区民の作品展」は、区民及び区に関係する人達から公募した各文化部門の作品を一堂に揃えた楽しい展示会です。作品部門は、絵画一般(油彩・水彩・水墨・その他)・写真・書道・文芸(俳句・短歌)・手工芸・陶器です。会場入口には、金沢華道会による巨大な生花が華を添えました。今回は、出展者が約350人、入場者数が約1400人と、盛況裡に推移しました。同時に、区内小・中学生の作品も展示しましたが、出展した生徒の親族・友人・関係者らの来場により賑わい、好評でした。



## ☆金沢区音楽のつどい☆ 金沢区音楽のつどい実行委員会 10月21日(日) 金沢公会堂

毎年、10月の第三日曜日を開催日とし、練習拠点を金沢区に置いていた音楽団体が、音楽文化の向上と、お互いの親睦を図ることを目的とし、日頃の練習の成果を発表するステージです。構成は30団体、参加は28団体で、ご家族やお友達が聞きに来て下さり、プログラムが足りなくなる程の盛況でした。最後に、「かなざわの四季」を、会場の皆様と一緒に歌い、楽しいうちに終了することが出来ました。



## ☆華道展☆ 金沢華道会 10月13日(土)～14日(日) 金沢地区センター2階大会議室

「やさしく開く花に、小さな夢を見る。  
冬 葉を落とした木々…緑の春から  
夏…そして紅葉の秋…一年中草木のもつ姿に  
生きる喜びを感じる」



そんな思いでただひたすらに、一筋の道を進んでいる私達です。この一年の各流派の先生とお弟子さんの成果をご高覧頂きました。また、「区民の作品展」会場では、会員の合作が皆様をお迎えいたしました。

## ☆金沢シンフォニカプロムナードコンサート☆ 横浜金沢交響楽団 11月25日(日) 金沢公会堂

当コンサートは2楽章の主題が「家路」で日本人にも馴染み深いドヴォルザークの交響曲第9番「新世界」や「ジュラシックパーク」などクラシックから映画音楽まで解説を交えながら披露。「サウンドオブミュージック」は逗子出身の双子デュオ華麗姉妹の爽やかなソプラノに乗せて演奏。お子様から高齢の方まで満席の会場は、手拍子や一緒に口ずさむ声、曲間でも鳴り止まぬ拍手に包まれ盛会でした。



## ☆お茶会☆ 金沢茶道会 10月14日(日) 金沢地区センター2階和室・ロビー

お茶会は、金沢地区センター2階の和室では裏千家、ロビーでは、表千家の、それぞれの席主の方々により、秋の趣向で取り行われました。多くの人々が足を運んで下さり、和菓子と一服のお茶で、静かなひとときを楽しんで頂きました。日本の文化の一つである茶道の席に、皆様方が今後とも気軽にお出で頂けますよう、金沢茶道会一同は、これからも努力を重ねていく所存です。



## ☆金沢区日本舞踊連盟公演☆ 金沢区日本舞踊連盟 12月2日(日) 金沢公会堂

我が国固有の伝統的な、そして日本らしさの象徴としての日本舞踊を、気楽に鑑賞して頂きたく、私たち連盟では各流派が集り、趣向を凝らした16演目を18人が披露しました。金沢区民文化祭の一環としての当公演も17回目を迎えました。優雅で絢爛たる演目ごとに、暖かい拍手が満席の会場に鳴り響きました。観客の皆様の熱心で真面目なご鑑賞に対し、深く感謝申し上げます。今後とも、この伝統芸能を十分に堪能して頂くため、連盟では最善の努力を尽くす所存です。



## ☆吟と舞の祭典☆ 金沢区吟剣詩舞連盟 10月20日(土) 金沢公会堂

プログラムの最初は恒例の「金沢八景詩」で、宇野元治朗・忠夫父子作の漢詩と京極高門の和歌を8つの会派が吟じました。次に独吟・合吟・剣詩舞・歌謡吟詠コンクール・画道吟と続き、構成番組「良寛和尚」では、スライドを用いて240年前の良寛の生誕から11歳の少年頃の漢詩「冬夜長し」、18歳頃から20年間の諸国行脚の旅での和歌「草枕」「たらちね」「時に憩う」「半夜」等を、祭典のハイライトとして皆様に見せました。今年もチャリティーを行い、多額の善意の寄付金を金沢区社会福祉協議会へ贈呈しました。



## ☆金沢区小・中学校音楽祭☆ 金沢区小・中学校音楽祭実行委員会12月9日(日) 金沢公会堂

文化協会から生まれたこの音楽祭は、午前9時の開館を待つ舞台準備に取り掛かることから始まる。3小学校・3中学校と私立横浜中・高の若者が朝からキビキビと動き回る。正午開場とともに、客席には熱気が充満。何と言っても先生方の熱意には頭が下がる。いよいよ日頃の鍛錬が舞台に漲ると、父母・祖父母の歓声が聞こえて来る。この日、「かなざわの四季」が、釜利谷中と横浜中・高を中心に全員合唱で盛り上がり、幕を閉じた。



## ☆35周年記念 金沢三曲演奏会☆ 金沢三曲会 11月3日(土・祝) 金沢公会堂

金沢三曲演奏会は、今回35周年を迎え、記念曲を委嘱、「瀬戸神社・ベイサイドマリーナ・金沢文庫・未来へ」の4楽章からなる池上眞吾作曲の「風のダイアログ」を初演しました。22名が流派を超えて協力し、アンサンブルを作り上げました。「情景が浮かんできました」「迫力のある演奏に邦楽に対する見方が変わりました」等の感想が寄せられました。また、区内の小・中学生と一般の方を公募しました。瀬ヶ崎小と高校生による「さくら・21」、釜利谷西小と一般による「さくらさくら・荒城の月」、六浦小琴クラブによる「わらべ唄メドレー」の三つの舞台に計39名が、素晴らしい演奏を披露し、会場の拍手がいつまでも鳴りやみませんでした。







# 『横浜金沢を詠う』 平成24年度前期 俳句・短歌(第8回)表彰式

横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会主催の「俳句短歌ポスト制度」の第8回(平成24年度前期)表彰式が10月30日(火)、金沢区民活動センターにて行われました。次に被表彰作品を紹介します。



### 〔俳句の部〕

☆横浜市金沢区長賞

(天位) 葎賀かげ魚に塩打つ柴漁港

(地位) 空蟬や金沢文庫の時流る 田所 正章

☆横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会賞

(天位) 海風のほど良くあぢさい日和かな 浅治 宏子

(地位) 横浜の海のかおりの夏祭り 小笠原 直哉

☆横浜金沢文化協会理事長賞

(天位) 赤門を潜れば花の散り止まず 上原 宏江

(地位) 寺めぐりすなはち牡丹めぐりかな 蛇子 雷児

☆横浜金沢観光協会賞

(天位) 花曇白山道奥唐崖仏 秋元 孝之

(地位) 栄区本郷台 遠山 輝夫

☆横浜金澤シテイガイド協会理事長賞

(天位) 侍従川潮満ち鱈を溢らしむ 鈴木 正

(地位) 円海山立秋の風吹きおろし 静江

☆横浜金澤シテイガイド協会理事長賞

(天位) 侍従川潮満ち鱈を溢らしむ 鈴木 正

(地位) 円海山立秋の風吹きおろし 静江

☆横浜金澤シテイガイド協会理事長賞

(天位) 侍従川潮満ち鱈を溢らしむ 鈴木 正

(地位) 円海山立秋の風吹きおろし 静江



### 〔短歌の部〕

☆横浜市金沢区長賞

平穏な世情を願ひ写経する 青葉祭りのみ寺に座して

☆横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会賞

(天位) 海に浮く色鮮やかな遊泳者 稲城市若菜台 加藤 美紀

(地位) 赤青緑 キャンパスのよう フィナーレを飾る花火が乙嬢の空に砕けてゆるり枝垂るる

☆横浜金沢観光協会賞

(天位) 朝からの雨降りやまず琵琶島の 小さき社を静かに濡らす

(地位) 海軍の将校官舎の門灯の 片側残る柴 山の奥

☆横浜金澤シテイガイド協会理事長賞

(天位) 侍従川潮満ち鱈を溢らしむ 鈴木 正

(地位) 円海山立秋の風吹きおろし 静江

☆横浜金澤シテイガイド協会理事長賞

(天位) 侍従川潮満ち鱈を溢らしむ 鈴木 正

(地位) 円海山立秋の風吹きおろし 静江

☆横浜金澤シテイガイド協会理事長賞

(天位) 侍従川潮満ち鱈を溢らしむ 鈴木 正

(地位) 円海山立秋の風吹きおろし 静江

### ☆金沢区民俳句(吟行)大会結果☆

金沢俳句会では10月28日(日)、25人の俳句愛好者を集めて、野島公園内にて吟行を行ってから、野島青少年研修センターにて第13回「金沢区民俳句(吟行)大会」を開催しました。次に上位の作品を紹介します。

## 文芸部活動報告

- 釣りが上がる鯊の雫や鉛色 大田 耕蔵
- 秋雨や野島百軒うづくまる 小幡 友子
- 鶴一声稲荷神社の静寂かな 赤嶋 昌夫
- 賑わいの野島の磯の新松子 田中 十九
- どんぐりの崖をころころ掩体壕 鈴木 正
- 秋羽織博文公の立ちし床 北野 一清
- 野島山そりり紅葉が囲み来る 大川 一馬
- 秋雨や茅に玉降る博文邸 小俣 悦男
- 鯊釣の上を電車の野島橋 大谷 祥二
- 高橋 るり

### ☆金沢区民短歌(秋季)大会結果☆

金沢区民歌人会では11月25日(日)、八景コミュニティハウスに29人の短歌愛好者を集めて、「金沢区民短歌(秋季)大会」を開催しました。次に上位の作品を紹介します。

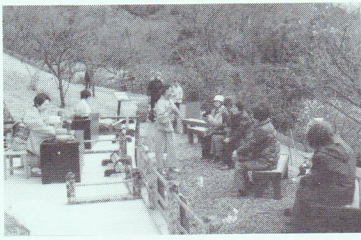
- ささやかな利息に国税地方税 田中 正子
- つづれさせとやこほろぎの鳴く 野中 建吾
- たわわなる熟柿の木立もぐ人の 朝井 恭子
- 見られぬ過疎の里の静けさ 草柳 繁一
- 空襲の負の遺産としてのこしある 朝井 恭子
- フラットホームに冬の雨滲む 佐藤 良二
- 昨夜聞きし人の言葉を通ぎ去りし 光岡コト子
- 余韻のごとく今朝おもひをり 秦 正子
- 老いたれば人の手なしに生きられぬ 秦 正子
- ただ「ありがとう」のことは重ねて 秦 正子
- 穏やかな秋日のなかに湖風ぎて 秦 正子
- わかさぎ釣りの船は動かさず 秦 正子
- リヤカーを引ききて夏野菜売り歩く 秦 正子
- 老いの背丸し残暑の街に 秦 正子



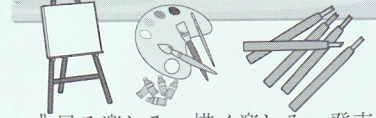
# 梅見茶会

～金沢自然公園にて～

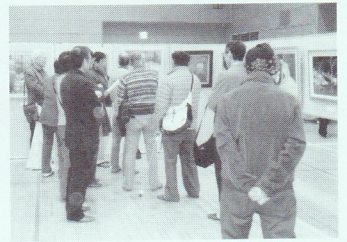
立春も過ぎ、少しずつ暖かくなって来ました。2月16日(土)と17日(日)、梅の花も奇麗に咲き始めた金沢自然公園で、恒例の梅見茶会を行いました。琴の音が穏やかに流れる明るい自然の中、お出で頂いた皆様には、一服のお茶にご満足頂けたと思います。小さな手で、茶筌をふるって頂いたお子様もおられて、その仕草が可愛らしく微笑ましい光景でした。また、日曜日には、横浜市立大学の学生の皆様の茶会もあり、とても良かったと思います。皆様、来年の梅見茶会にもお出下さい。金沢茶道会一同、お待ちしております。



# 金沢区美術協会の活動



「見る楽しみ・描く楽しみ・発表する喜び」をテーマに、金沢区美術協会は11月22日から27日まで、能見台地区センター体育館で、第5回金沢区美術展を開催し、137人の油彩・水彩・水墨・パステル・日本画・切り絵・彫刻等を展示しました。来館者は延1280人を数え成功裡に終わりました。また、1月20日から2月2日までの間、2期に分けて、金沢区役所区民活動センター内展示コーナーで、1期にはアンデルセン公園スケッチ風景を画題とした作品展(出品数24点)を、2期には自由画題の作品展(出品数22点)を行いました。その他9月27日、区民活動センター会議室で、「石膏デッサン体験教室」を開催、また11月29日には、千葉県船橋のアンデルセン公園でのスケッチ会と千葉市のホキ美術館見学を行いました。



# 畠山六郎重保公廟所清掃



当廟所の清掃(除草等)活動は、一昨年までは年に2回行っていました。昨年は除草剤を2度散布した効果が出て、11月14日(水)に清掃しただけで済みました。そして2年後には、廟所内を緑の芝生にする環境整備を計画しています。今回の清掃中、二組の歴史愛好グループが参観に来ましたので、廟所の由来等を説明しました。

なお、来る6月22日には、横浜金沢文化協会主催、横浜市金沢区役所・横浜金沢観光協会・横濱金澤シティガイド協会・釜利谷地区連合町内会・白山道町内会後援による歴史講演会「畠山重保公と釜利谷」(講師||文学博士・歴史研究家の盛本昌広氏)を、釜利谷地区センターにて予定しています。

# 大森海苔のふるさと館見学

横浜金沢文化協会「海苔づくり委員会」の研修として、1月26日(土)、東京都大田区にある「大森海苔のふるさと館」へ出かけました。当日は、委員・区役所地域振興課の方など17名が参加。地元で海苔づくりをやっておられた方を講師に、実際に「海苔づくり」を体験。厳冬の海での海苔の採集、夜明け前の仕事の苦労話を伺い、「アサクサノリ」と「浅草海苔」の違い等の「海苔」についての知識を深める充実した研修になりました。その成果を3月末に行う区内の小・中学生を対象の「海苔づくり教室」に活かしていきたいと思えます。



# 旧伊藤博文金沢別邸復元3周年記念祭

平成24年10月28日(日)午後1時より、当協会鈴木事業部長の司会で開催された。賑やかな野島囃子に始まり、運営協力会の会長挨拶、林金沢区長の祝辞等の後に、様々な演目が演じられた。童謡の会「帰帆」の合唱と聴衆と一緒に「海」「砂山」「浜辺の歌」等お馴染みの曲が歌われた。金沢三曲会の箏曲、渡辺フラグループ「野鳥」のフラダンス、しばし休憩の後「六浦子供セミナー」の可愛い謡曲、仕舞。金沢区日本舞踊連盟有志による舞踊、当協会小阪和子(坂東寿次)理事も華麗な舞を披露。次いで「六浦セミナー」の謡曲、仕舞。珍しい野村流古典音楽保存会の三線に続き、金沢区吟剣詩舞道連盟の吟詠、ここでも大川理事が活躍、催しの取りを務めた。運営委員会副会長が閉会の挨拶をし、午後4時散会した。







# “歴史と文化の薫る街づくり!!”



## 活動部門

- ◎総合文化部
- ◎絵画部
- ◎書道部
- ◎写真部
- ◎手工芸部
- ◎文芸部
- ◎歴史部
- ◎楽器部
- ◎合唱部
- ◎声楽部
- ◎邦楽部
- ◎吟剣詩舞部
- ◎華道部
- ◎茶道部
- ◎郷土芸能部
- ◎謡曲部
- ◎民謡民舞部
- ◎陶芸部
- ◎邦舞部
- ◎洋舞部
- ◎朗読部
- ◎武道部
- ◎児童文化部
- ◎一般文化部

## 事業助成

横浜金沢文化協会の個人または団体が行う行事で、当協会の共催または後援が必要な場合は、申請書の審査により、**名義使用の許可及び資金援助**を、年1回限りで行っています。

## 年会費

- 個人 2,000円
- 団体 7,500円(会員25人以下)
- 10,500円(会員26人~50人)
- 15,000円(会員51人以上)
- ※入会金なし

## 問合せ先

NPO法人横浜金沢文化協会  
事務局長 坂(ばん)直孝  
電話 045-785-6722

# NPO法人 横浜金沢文化協会 会員を募集中!!

当協会は、金沢文庫を創設し我が国の学術振興を図った北条実時を追慕し、武蔵国金沢以来の伝統をひまえ、次世代を展望しつつボランティア精神をもって、地域文化振興の中核となる事業を行い、各種の文化活動を通じて、地域文化の総合的發展に寄与することを目的(設立の志)としています。

~金沢区に文化センターを!!~

## 個人会員紹介

に文化協会へ入会しました。歴史散策は毎月5~10kmを歩き、今年2月で358例会を迎えました。例会ごとに撮影した記録ビデオを、60分に編集し、8月に県立金沢文庫で上映会を行っています。文化協会では、13年から理事、17年から監査を務め、各行事の記録写真・ビデオ等を撮影しています。横浜金沢文化協会の益々の発展のため最善を尽くしたいと思っています。



歴史部 一之瀬 炯次  
金沢区で生を受けて84年になります。「金沢区文学と歴史愛好会」の楠山永雄会長の代行として平成13年

吟詠(唄う)だけではなく、詩の心、作者の生き方を学びながら吟詠しています。本当に奥が深いです。金沢区には神社・仏閣が沢山あり、詩吟に関係する事柄が多くあり、吟詠します。詩吟の会の行事と重なって、文化協会の行事には参加出来ませんが、これからは諸行事に関心を持ち、何かお手伝い出来るよう頑張ります。



金沢吟剣詩舞連盟 遠藤 岳瑞  
私は小さい時から歌うのが好きでした。最初は歌謡吟を歌っていましたが、詩吟に魅せられて詩吟の会に入ってから36年になります。詩吟は

# 第8回 11月24日(土)MMホール 横浜並木男声合唱団定期演奏会



開演のブザーが鳴る！指揮者・ピアニスト・団員44人に緊張感が走る。薄暗いステージに団員が並び終え、会場がバツと明るくなった時、アツと目を見張った。1~3階まで満席！しかもP席と言う我々の後ろの席も観客で一杯。今まで何回も出演していたのに、今回は圧倒され足がブルブル震えたのは私だけではなく、NHKをはじめマスコミでも知られていたことと、このコンサートへ来て合唱団へのファンが少なからず根付いてきたお蔭かと思われ。最初の一曲を無事歌い終えると、不思議にも足の震えが和らぎました。順調にコンサートは進行し、最後のアンコールを終えた時には、割れんばかりの拍手と歓声を頂き、大成功を実感し、快感が身体中を走りました。後日、アンケートでも絶賛の声が多く寄せられました。ロビーでお客様を見送った後、打ち上げ会場であつぷりと頂いたお酒の本当に美味しかったこと!!



文化協会行事予定(日程順)

3月23日(土) 野島公園バーベキュー場 海苔づくり教室	4月3日(土) 8日(月) 杉田劇場ギャラリー 並木カメラサークル第9回写真展	4月7日(日) 旧伊藤博文公金沢別邸 春の茶会	4月14日(日) 三溪園 ライオンズクラブ慈善茶会	4月21日(月) 金沢公会堂 第12回金沢スプリングコンサート	4月29日(月) 祝 八景コミュニティハウス 金沢区民短歌(春季)大会	4月下旬 金沢区民活動センター 俳句短歌ポスト制度第9回表彰式	5月6日(月) 金沢山称名寺 称名寺新能	5月16日(木) 21日(火) 杉田劇場ギャラリー 金沢区写真連盟第1回公募展	5月18日(土) 瀬戸神社境内 第12回瀬戸神社居合道奉納演武会	5月28日(火) 6月2日(日) 喜野ラザリョー 第6回金美協展	6月2日(日) 金沢地区センター 第15回金沢区民俳句大会	6月5日(水) 10日(月) 磯子区民文化センター 第27回金沢区書道協会展	6月 八景島シーパラダイス あじさい祭茶会	6月22日(土) 釜利谷地区センター 歴史講演会「白山重保公と釜利谷」	7月20日(土) 金沢区役所・朝比奈峠 塩づくり教室と塩の道を歩く	7月28日(日) 金沢海の公園 第12回塩田による塩づくり	9月1日(日) 鎌倉芸術館 第42回金沢吹奏楽団定期演奏会	生花の展示 金沢地区センター・県立金沢文庫・ 区役所玄関(年間を通じて) 旧川合玉堂邸(毎月第1土曜日)
(782) 0705	(789) 3128	(773) 9297	(774) 7077	(701) 6705	(782) 1055	(781) 5044	(783) 1375	(789) 3128	(783) 2298	(701) 2445	(781) 5044	(701) 4964	(773) 9297	(783) 8760	(782) 0705	(782) 0705	090 7189 5298	(701) 0711

顧問名簿 (五十音順)

顧問名簿 (五十音順)	小幡 正雄	片岡 順一	加藤 尚	木村 久義	楠山 永雄	国吉 一夫	黒川 澄夫	黒川 勝夫	佐野 和史	篠原 豪	高井 祿郎	高橋 徳美	松崎 淳	松野 宗純	松本 純	谷田部 孝一	賛助会員名簿 (五十音順)	(有) 岩下 書店	植周 造園 (株)	(社) 金沢区三師会	金沢区旅館組合	金沢民謡・舞踊普及会	(医) 社団景翠会金沢病院グループ	幸栄 印刷 (株)	(医) 社団湘南太陽会鳥居泌尿器科・内科	横浜 紅谷
-------------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	------	-------	------	--------	---------------	-----------	-----------	------------	---------	------------	-------------------	-----------	----------------------	-------

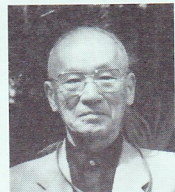
個人会員紹介



写真部 木村 路子  
 写真を撮り続けて28年がたちます。金沢の良いところを皆様に知って頂きたい。数年前、日比谷で「私たちの金沢」のテーマで、クラブの写真展を開きました。多くの方に、石川県金沢市と間違えられたものです。今は八景島のお蔭で、金沢区も有名になりました。しかし金沢には、写真を展示する場所がありません。区外の施設を借りるばかりではなく、区内にみんなが利用できる施設が早く出来ることを心待ちにしております。なお、「区民の作品展」に展示する写真が減りつつありますので、どしどし応募してください。



茶道部 田宮 初重  
 愛知県の尾張と三河の境から、昭和42年、金沢区寺前に嫁いで来ました。海は澄んでおり、海水パンツ姿の幼い息子二人を連れて、よく遊びに行つたものです。昭和50年頃、朝比奈へ引越し、表千家の高梨宗秀という素晴らしい師匠にお会いしたのが、茶道にのめり込むきっかけとなつたのです。平成2年に寺前へ戻り、現在は自宅でお勉強とお茶を教えています。「茶道は死ぬまでお勉強」とか申します。まだまだ未熟で修行中の身です。



相談役 白井 俊一  
 釜利谷郷土史勉強会に所属していた関係で、平成8年に途中入会、第1期生として文化協会に入会しました。その縁で「旧川合玉堂別邸及び園庭緑地運営委員会」の設立の一員として、金沢区の貴重な文化財保存並びに一般公開に関わることが出来ました。その他「塩づくり実行委員会」、「白山重保公廟所保存会」等々にも関わり、沢山の先輩・仲間と一緒にボランティア活動が出来たことが私の誇りであり財産です。各文化団体の益々のご発展を祈念するとともに、皆様に改めて御礼申し上げます。



合唱部 森川 淳子  
 昭和10年旧満州新京特別市に生まれ、終戦の嵐の後東京に落ち着き、経団連広報部に務める中、組合の合唱活動に参加して以来合唱漬けのまま現在に至り、一向に成長しておりません。富岡在住52年となり、平成6年、初代文化協会会長の故森下春陵氏からお誘いを受けた草創期メンバーは7人でした。今日、文化協会は眩いばかりに輝いております。ひまわり会・かまきりやサウンドで合唱指導をしております。もう少しお役に立てればと思っております。

編集後記

残暑にも負けず厳寒にもめげずにご活躍された、皆様の文化活動の軌跡を本紙にまとめました。今後益々のご活躍を期待致しますとともに皆様のご健勝とご清栄をお祈り申し上げます。

編集委員

- 一之瀬 炯次・氏家 總子・榎本あけみ・小櫃 健一・橘川 和夫・後藤 政也・佐野史瑞子・白井 俊一・鈴木 稔・田宮 初重・野中 建吾・坂 直孝・深津 米男・森川 淳子 (五十音順)